

# 阿づまの光

A Z U M A N O H I K A R I



すめ神のみ旨のままに進むべしと

思ひ定めて安かりにけり

【尊師 出口日出磨】



教主さまお作

灰釉茶盃「エルサレム」

ヨルダン土／本宮山松釉＋エルサレム石

## 大きな機の仕組みのなかで

祭務課長 椎野 恭三

教主さまには、先の大本開祖大祭で「2025年（令和7年）、綾部の本宮山から続く新しい神域において善言美詞の歌の言葉により大神さまのみ心を和め、全ての人々の心を和め、過去のどのようなもつれごとくも断ち切って世界を和合へと導く神事『綾の聖地エルサレム大本歌祭』を行いたい」と。そして「最終的には、そう遠くない未来に、現代の中東の『エルサレム』でユダヤ教、キリスト教、イスラム教の3つの宗教が和合し、真の意味でエルサレムが誠の信仰の都、神都となり、平和の祭典である歌祭ができますことを今、強く念願しております」とごあいさつなされました。

平成17年に示された「わが願ひエスペラントの歌まつり人類同胞こぞりてエルサレムの野に」のお歌に示される、世界の平和、みろくの世の実現に向けての願いが形となり、激動の令和5、6、7年のみろくの3カ年の締め括りとして、綾の聖地で大本歌祭が執行されるということ。これは、本年のみ手代ご下付、道院提携、エスペラント導入、そして来年は入蒙、南米宣教、再来年は世界宗教連合発表会、人類愛善会発足の各百年の事業が皆つながっており、そこに綾機神社の建設という大きな柱が加わり、この3カ年のご神業が大きな機の仕組みのなかで展開されていることを実感いたします。

綾の郷整備事業が進むなかで思うことは「赤や白青むらさきをとりませて錦おるなり愛善の道」（二代さま）、「鶴山に妻は錦の機を織り吾亀岡に万代を教ふ」（聖師さま）の2首のお歌であります。すべてを包含する愛善の精神、そして綾部の聖地で教主さまが織りなす機の仕組み。

教主さまから大きな目標をいただき、今何を為すべきか。私たちは外に向かつての大きなご神業が進展して行くときこそ、足下を正し、お土から離れず、ご神書の拝読と実践の生活に努め、邁進して参りたいと存じます。皆さま、神さまから大きなおかけをいただかれ、健康で明るく前向きにがんばりましょう。



## 秋季大祭を執行

東光苑秋季大祭・新穀感謝祭・七五三詣りは、11月12日午前10時30分から、齋主・椎野恭三祭務課長のもと執行され240人が参拝した<sup>II</sup>写真左。

祭員は各主会の祭務部長等が、伶人は二絃の会関東支部、大本神論拝読は高野富輝夫埼玉主会長が、東光庵では添釜が開かれ高野社中が担当した。

祭典では信徒有志からの五穀や野菜の献納品もお供えされ、お下がりとして参拝者に下付された。

祭典後、七五三詣り3名のお子さんに橋本伸作東京宣教センター長から千歳飴とお菓子が贈られた<sup>II</sup>写真下。引き続き橋本センター長があいさつ。その後、二絃の会関東支部による奉納「出雲の新嘗」を能舞台で行った<sup>II</sup>写真下。



なお、東京主会・埼玉主会直心会連合会による日用品などのバザーが、関東教区青松会による手作り味噌のバザーや青年部によるコーヒーバザーが催された。



## 正体山秋季大祭

10月29日、一宮浅間神社（山梨県西八代郡）のご神体山と仰ぐ正体山山頂にて、正体山秋季大祭が執行され、麓の遥拝所を含め、17人が参拝した<sup>II</sup>写真下。

この正体山は、西暦846年の富士山噴火の際、富士山のご祭神、木の花咲耶姫命が遷座されたとの伝承がある大本本部所有の霊山。

なお、10月10日より3日間、山本哲大本部神苑部長や山梨主会信徒によって樹木の伐採などを中心にした祭場の整備を行った。



## 家庭平安祈願祭

家庭平安祈願祭（第32回）は、10月21日午前10時30分から、齋主・椎野恭三祭務課長のもと執行された。

祭典では、齋主と祭員が全国から申し込まれた407件の氏名を全て読み上げ、家庭の平安と繁栄を祈願。

祭典後、橋本伸作東京宣教センター長が「家族のかたち」と題して記念講話。



なお、全国から申し込まれた家庭平安祈願は祭典後1週間、東光苑ご神前で継続された。

## 東光苑七草粥について

令和6年の東光苑七草粥を、東京本部で開催いたします。大勢の皆さまのご来苑をお待ちしております。

開催日 令和6年1月7日（日）  
開催時間 午前10時30分～午後2時

## 東光苑オンライン講座

1月25日（木）19:00～

## 大本開祖出口なおの生涯

講師：橋本伸作（大本東京宣教センター長）



令和6年の節分を期して『大本開祖伝～出口なおの生涯～』が、株式会社から発刊されることとなりました。

81年余りにおよぶ出口なお開祖の波乱に満ちた生涯は、とても言葉では表現できるものではありませんが、残された史実をひも解きながら、その足跡や開祖の人柄に触れてみたいと思います。

大本東京本部ホームページをご覧ください！

## 1月 東光苑祭典・行事予定

1日（月・祝）午前7時、新年祭・年賀交換

1日～3日（月～水）午前9時30分、年賀

7日（日）午前10時30分～午後2時、東光苑七草粥

14日（日）午前10時30分、東光苑月次祭成人式典合格祈願祭

19日（金）午前10時30分、聖師毎年祭（76年）

25日（木）午後7時、東光苑オンライン講座（配信）

講師 橋本伸作（東京宣教センター長）